

令和元年10月25日

都議会自民党
幹事長 鈴木章浩

2020東京大会のマラソン・競歩会場の変更について（談話）

2020年東京大会のマラソン及び競歩の競技会場を札幌に変更する件について、IOCと東京大会組織委員会、東京都等によるIOC調整委員会が、10月30日に開催される。

都議会自民党は、多くの都民の皆様と協力して東京にオリンピック・パラリンピックを招致するために党をあげて取組み、招致決定後も、大会の成功に向けて、セキュリティ対策、輸送対策そして暑さ対策に全力で取り組んできたところであり、今回の、唐突な競技会場の変更には驚きを禁じ得ない。

招致活動に始まり現在にいたるまでの、様々な取組、関係者の方々のご努力を考えれば、このような突然の競技会場の変更をそのまま受け入れることは到底できず、開催都市を無視したIOCバウハ会長の姿勢には断固抗議する。

小池知事は、10月30日の調整委員会においては、開催都市東京の知事として、この間の経緯をつまびらかにするとともに、東京都内でマラソンと競歩競技を開催するための都の取組を説明し、当初計画に沿った形での大会開催に向けた都民の思いを、明確にそして強く主張すべき。

なお、一部都議と言う表現で、あたかも、我が党の議員がIOC、組織委員会との間で事前の調整を行っていたかのように報道されている。また、都議会議員のSNSなどで流されているが、全く事実無根である。

都議会自民党は、都知事と一体となって、マラソン及び競歩競技の東京開催実現に向けて最善の策を模索し、都議会が一致団結して取り組んでいくよう、広く呼び掛けていく。